

百日咳の流行について

根室保健所

百日咳が、根室保健所管内で流行しています。

感染を予防するため、うがい・手洗い・咳エチケットを徹底しましょう。

百日咳とは？

百日咳菌という細菌の気道感染によって起こる急性呼吸器感染症です。

成人の方が感染しても、一般的に症状は軽く、脳症などの重症例や死亡例は極めてまれですが、乳幼児への感染源となるため注意が必要です。

ワクチン未接種児が感染した場合は、重篤化しやすく、日本でもいまだに死亡事例が認められており、注意が必要です。

- 通常7～10日程度の潜伏期を経て、かぜ症状の後、次第に咳の回数と程度が激しくなります。その後、連続性で発作性の咳（顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳込み、最後にヒューと音を立てて大きく息を吸う）が2～3週間続きます。

なお、乳児では重症となり、特に新生児がかかると無呼吸、痙攣となり、致死的となることがあります。

予防法は？

- 予防接種が効果的です。

三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）ワクチンを生後3ヶ月から90ヶ月までに4回受けます。（標準的には、生後3ヶ月目から12ヶ月までに20日～56日間隔で3回受け、続いて12～18ヶ月後に追加接種を1回受けます。）

1歳未満で百日咳にかかると重症化しやすいので、生後3ヶ月になったら、なるべく早く受けましょう。

かかってしまったら？

- 咳が続く場合は、百日咳の感染を疑い、早めに医療機関を受診しましょう。
- 他の人にうつさないために咳エチケットを心がけましょう。



【問い合わせ先】

根室保健所 健康推進課保健予防係

住所：根室市弥栄町2丁目1番地

電話：0153-23-5161